

「*medicina*」第37巻 総目次

2000年 第1号～第13号

(数字は頁数, ()は号数を示す.)
(11号は増刊号につき不掲載.)

【今月の主題】

■ 急性冠症候群

〈Editorial〉

なぜいま急性冠症候群か ……山口 徹 6(1)

〈病態の理解のために〉

プラーク破綻と血栓形成の病理
……山路 國弘・由谷 親夫 8(1)

プラークの破綻と安定化のメカニズム
……相川 真範・代田 浩之 12(1)

血栓形成の病態生理 ……小川 久雄 16(1)

スタニング・ハイパネーション・プレコンディショニング-Ca²⁺とアデノシンの関与
……北風 政史・堀 正二 21(1)

〈急性冠症候群の診断〉

外来での問診のポイント ……百村 伸一 26(1)

外来での心電図診断のポイントと pitfall
……杉 薫 28(1)

高齢者へのアプローチ

……井阪 直樹・中野 赳 32(1)

無症候性心筋虚血の診断とその意義
……前川 正人・尾崎 行男 34(1)

どの症例を入院させるべきか ……山科 章 37(1)

急性冠症候群の画像診断

……秋山 真樹・吉田 清 40(1)

急性冠症候群の生化学的診断

……清野 精彦・緒方 憲一・岩原信一郎 44(1)

〈急性冠症候群に対する治療と Evidence〉

不安定狭心症に対する治療法選択の原則

……相澤 忠範 51(1)

急性心筋梗塞に対する治療法選択の原則

……藤井 謙司 54(1)

不安定狭心症に対する薬物療法と効果

……北村 順・住吉 徹哉 57(1)

不安定狭心症に対する血行再建治療

……原 和弘 60(1)

急性心筋梗塞に対する冠動脈血栓溶解療法の適応と効果

……本宮 武司 64(1)

急性心筋梗塞に対するカテーテル治療の適応と効果

……後藤 剛・光藤 和明 69(1)

急性心筋梗塞に対するプレホスピタルケアはどこまで

行うべきか

……浜重 直久・川井 和哉・土居 義典 72(1)

心原性ショックへの対応と効果 斉藤 太郎 76(1)

不整脈への対応と効果

……家田 真樹・三田村秀雄 80(1)

高齢者への対応のポイント ……岩坂 壽二 83(1)

治療後はいつ退院させるべきか 平山 治雄 87(1)

心筋梗塞後のリハビリテーションと効果

……大宮 一人・三宅 良彦 92(1)

退院後の外来ケアのポイント

……日浅 芳一・原田 貴史 96(1)

再発予防のための生活指導

……池ノ内 浩・羽田 勝征 99(1)

心筋梗塞への進展予防を目的とした薬物治療

……金政 健・池田 章子・内藤 方克 103(1)

〈トピックス〉

新しい抗血小板薬一血小板糖蛋白 GP II b/III a 受容

体阻害薬 ……後藤 信哉・長岡 優多 108(1)

血栓を有する病変に対する新しいカテーテルインター

ベンション ……鈴木 智毅 111(1)

Off-pump CABG と MIDCAB

……塩野 元美・瀬在 幸安 114(1)

21世紀のCCUに求められるものは何か?

……木内 要・高野 照夫 116(1)

〈座談会〉

急性冠症候群へのアプローチと治療戦略

……高山 守正・一色 高明・

中村 正人・山口 徹 119(1)

今月の主題・理解のための28題 …… 131(1)

解 答 …… 159(1)

■ アレルギー診療の実際

〈Editorial〉

アレルギー炎症の発症機序に基づく予防対策と治療方

法 ……長屋 宏 168(2)

〈Introduction〉

諸外国におけるアレルギー疾患治療方法の傾向ー日本

と比較して ……岡田 正人 172(2)

アレルギー患者の問診と診断のポイント

……長屋 宏 176(2)

〈アレルギー疾患の根本的治療法〉	
アレルギーの除去と回避 ……佐々木 聖	181(2)
アレルギー特異的減感作療法(免疫療法)	
……………長屋 宏	184(2)
〈アレルギー疾患の薬物療法〉	
抗ヒスタミン薬・抗アレルギー薬の種類, 作用機序と 使い方 ……中川 武正	190(2)
吸入および経口ステロイド薬の作用機序・使い方一気 管支喘息において	
……………小林 信之・工藤宏一郎	194(2)
吸入および経口気管支拡張剤(β_2 刺激薬とテオフィリ ン)の使い方……………小川 忠平・佐野 靖之	198(2)
〈鼻 炎〉	
アレルギー性鼻炎の発症機序, 病態と鑑別診断	
……………奥田 稔	202(2)
花粉症の診断	
…宇佐神 篤・岩崎 幸司・柘植 昭宏	205(2)
花粉アレルギー回避と減感作療法	
…沼田 勉・今野 昭義・寺田 修久	208(2)
花粉症の薬物療法 ……大久保公裕	210(2)
〈喘 息〉	
小児喘息の発症機序・病態と予後—小児喘息は自然に 治るか? ……小田嶋 博	214(2)
小児喘息の治療ガイドライン—吸入ステロイド療法の 問題点とアレルギー除去の重要性	
…末廣 豊・亀崎 佐織・福井 徹哉	217(2)
成人喘息の発症機序, 病態と予後	
……………可部順三郎	220(2)
喘息の発症, 増悪にかかわる原因アレルギー回避の重 要性 ……安枝 浩	224(2)
喘息の減感作療法 ……富田 尚吾	226(2)
成人気管支喘息患者に対する吸入ステロイド療法の早 期導入の有用性 ……鈴木 直仁	231(2)
成人喘息の急性発作に対する治療	
……………大田 健	234(2)
成人喘息の長期管理治療 ……長坂 行雄・ 秋山 慶太・下村 修也・中野 直子	237(2)
高齢者喘息の発症機序, 病態と治療の注意点	
……………長谷川真紀	241(2)
慢性閉塞性肺疾患(COPD)と喘息	
……………馬島 徹・堀江 孝至	244(2)
アスピリン喘息 ……末次 勸	249(2)
妊娠と喘息 ……大友 守	252(2)
職業性喘息 ……清水 泰生・中澤 次夫	257(2)
好酸球増多を伴う肺疾患の鑑別診断と治療	
……………山本 尚実・秋山 一男	260(2)
〈アレルギー疾患の危機管理と救急治療〉	
アナフィラキシー, 急性じんま疹と血管浮腫の原因, 予防と救急治療 ……高藤 繁	263(2)
食餌依存性運動誘発アナフィラキシーの原因と治療	

……………高藤 繁	266(2)
〈全身性アレルギー疾患〉	
アトピー性皮膚炎の発症機序・病態と治療	
……………池澤 善郎	269(2)
食物アレルギーの原因と対策 ……海老澤元宏	273(2)
薬物アレルギーの原因と対策 ……鈴木 修二	276(2)
ハチアレルギーの診断と治療	
…湯川 龍雄・平田 博国・福田 健	279(2)
ラテックスアレルギー ……赤澤 晃	284(2)
〈鼎 談〉	
アレルギー疾患の予防および早期診断・治療	
…奥田 稔・秋山 一男・長屋 宏	289(2)
今月の主題・理解のための32題 ……	305(2)
解 答 ……	335(2)

■ 高血圧の診療—新しい話題

〈総 論〉	
高血圧診療の進め方 ……島本 和明	344(3)
〈高血圧の病態〉	
食塩感受性 ……安東 克之・藤田 敏郎	349(3)
インスリン抵抗性 ……片山 茂裕	352(3)
肥満を伴う高血圧 久代登志男・上松瀬勝男	356(3)
〈血圧測定をめぐる話題〉	
家庭血圧の測り方と正常値	
…大久保孝義・辻 一郎・今井 潤	359(3)
24時間血圧測定の診断的意義 ……桑島 巖	362(3)
白衣高血圧 ……齊藤 郁夫	366(3)
〈大規模臨床試験の成績から〉	
欧米の現況 ……松岡 博昭	369(3)
日本の現況 ……瀧下 修一	372(3)
〈高血圧ガイドラインから〉	
新しい高血圧ガイドライン WHO/ISH 1999	
……………荻原 俊男	377(3)
新しい老年者高血圧の治療指針	
……………日和田邦男	380(3)
〈降圧療法—生活習慣改善に関するエビデンス〉	
運動降圧療法	
…浦田 秀則・藤見 幹太・荒川規矩男	383(3)
食事療法—塩分, アルコール, 肥満への対策	
……………河野 雄平	386(3)
〈降圧薬の話題〉	
降圧薬の選び方 ……内藤 昭貴・島田 和幸	389(3)
カルシウム拮抗薬 ……猿田 享男	395(3)
ACE 阻害薬	
…柴木 宏実・檜垣 実男・荻原 俊男	399(3)
アンジオテンシンII受容体拮抗薬	
……………後藤 淳郎	402(3)
α_1 ブロッカーによる降圧療法の特徴	
……………高橋 伯夫	407(3)
利尿薬 ……加藤 丈司・江藤 胤尚	410(3)

β 遮断薬 ……………築山久一郎・大塚 啓子	415 (3)
〈合併症を伴う高血圧一個別治療の実験〉	
脳血管障害	
…北川 一夫・松本 昌泰・堀 正二	418 (3)
心肥大, 心不全	
…青柳 昭彦・平田 恭信・永井 良三	423 (3)
虚血性心疾患 ……山野 繁・土肥 和紘	429 (3)
腎疾患 ……………八木 知佳・伊藤 貞嘉	433 (3)
糖尿病 ……………吉川 隆一	436 (3)
高脂血症 ……………村上 眞・富田 公夫	438 (3)
高血圧緊急症 ……松浦 秀夫・梶山 梧朗	441 (3)
妊娠における降圧薬の使い方 …鈴木 洋通	445 (3)
小児・若年者高血圧とその治療	
…川村祐一郎・羽根田 俊・菊池健次郎	448 (3)
〈鼎 談〉	
高齢者高血圧の新しい治療ガイドライン	
…荻原 俊男・松岡 博昭・島本 和明	453 (3)
今月の主題・理解のための 28 題 ……………	461 (3)
解 答 ……………	478 (3)

■ 内科医のための皮膚所見の診かた

〈皮膚所見を理解するために〉	
皮膚の構造と機能 ……………石川 治	508 (4)
〈内科医のための発疹の診かた〉	
基本的な診察と問診のポイント 斉藤 隆三	513 (4)
紫 斑一老人性紫斑から Churg-Strauss 症候群まで	
……………川名 誠司	518 (4)
水 疱一虫刺症から類天疱瘡まで	
……………橋本 公二	522 (4)
膿 疱一毛包炎から膿疱性血管炎まで	
……………西部 明子・岩月 啓氏	525 (4)
膨 疹一蕁麻疹からアナフィラキシーショックまで	
……………森田 栄伸	528 (4)
紅 斑一結節性紅斑から悪性リンパ腫まで	
……………古川 福実	532 (4)
黒色腫瘍一脂漏性角化症からメラノーマまで	
……………斎田 俊明	536 (4)
〈内科医へのヒント〉	
不明熱と発疹一成人 Still 病からつつが虫病まで	
……………伊藤 薫	540 (4)
膠原病を疑うきっかけとなる発疹一爪上皮延長から光線過敏まで	
……………秋元 幸子	544 (4)
Emergency Room の皮膚科一壊死性筋膜炎から TEN まで	
……………多田 譲治・秋山 尚範・荒田 次郎	547 (4)
薬疹とウイルス感染の接点一アンプシリン疹から HIV まで	
……………塩原 哲夫	550 (4)
内科医が起こす医原性皮膚疾患一消毒性皮膚潰瘍から薬剤性光線過敏症まで	
……………錦織千佳子	554 (4)
皮膚科医がパッチテストをするとき一接触皮膚炎から	

固定薬疹まで ……………伊藤 正俊	558 (4)
かゆみ一透析のかゆみから老人性皮膚癢痒症のかゆみまで	
……………宮地 良樹	562 (4)
スキンケアの理論と実際一保湿剤からサンスクリーンまで	
……………早川 律子・杉浦真理子	566 (4)
アトピービジネスの現況一内科領域でも対岸の火事ではない	
……………竹原 和彦	569 (4)
〈Common Skin Diseases一内科医の第一選択治療〉	
内科医が使える皮膚科用薬の特徴と使い方	
……………江藤 隆史	573 (4)
皮膚癢痒症 ……………瀧本 玲子・高森 建二	578 (4)
接触皮膚炎 ……………中村 元信	582 (4)
褥 瘡 ……………河合 修三	585 (4)
虫刺症 ……………出光 俊郎	589 (4)
帯状疱疹 ……………高橋 健造	592 (4)
足白癬 ……………望月 隆	596 (4)
蕁麻疹 ……………宇谷 厚志	599 (4)
脂漏性湿疹 ……………段野貴一郎	602 (4)
痤 瘡 ……………戸田 憲一	604 (4)
外来の熱傷 ……………田村 敦志	608 (4)
〈皮膚病変から診断する全身性疾患〉	
サルコイドーシス ……………岡本 祐之	611 (4)
Behçet 病……………溝口 昌子	614 (4)
糖尿病 ……………伊崎 誠一	618 (4)
内臓悪性腫瘍	
…高平 佳恵・真鍋 求・出光 俊郎	622 (4)
エイズ ……………石井 則久・杉田 泰之	626 (4)
〈鼎 談〉	
皮膚科医と内科医のクロストーク	
…永井 良三・桑名 正隆・宮地 良樹	629 (4)
今月の主題・理解のための 36 題 ……………	640 (4)
解 答 ……………	674 (4)

■ 血栓症と抗血栓薬

〈血栓症の基礎一最近の研究の進歩〉	
血栓形成の 3 要因一Virchow's triad	
……………安保 浩伸・半田 誠	682 (5)
血栓症の病理	
…浅田祐士郎・丸塚 浩助・住吉 昭信	685 (5)
血栓形成における血小板の役割	
……………西川 政勝・市岡 希典	688 (5)
組織因子と血栓形成 ……………加藤 久雄	693 (5)
血液凝固制御因子と血栓形成 …丸山 征郎	698 (5)
線溶異常と血栓形成 ……………山本 晃士	701 (5)
〈血栓症の臨床一疫学と病態〉	
脳梗塞・TIA ……………棚橋 紀夫	705 (5)
無症候性脳梗塞 ……………小林 祥泰	708 (5)
心房細動と脳塞栓一high risk と low risk	
……………山本 啓二・島田 和幸	711 (5)
急性冠症候群 ……………後藤 信哉	715 (5)

冠インターベンションと血栓形成—頻度、病態解明の新知見	一色 高明	718(5)
肺塞栓—その要因は？	栗山 喬之	721(5)
深部静脈血栓症	池田 正孝・川崎 富夫	725(5)
閉塞性動脈硬化症—臨床像の変遷	重松 宏・大城 秀巳	728(5)
血栓性血小板減少性紫斑病/溶血性尿毒症症候群—病態の鍵を握る新しい因子	八木 秀男・藤村 吉博	731(5)
DIC—病態の多様性	御館 靖雄・朝倉 英策	735(5)
抗リン脂質抗体症候群—血栓形成のメカニズム	鎗木 淳一	739(5)
悪性腫瘍と血栓症	新保 卓郎	742(5)
〈血栓症の臨床—診断と進歩〉		
血栓性素因の診断へのアプローチ	川合 陽子	744(5)
検査診断—血栓準備状態の診断	野村 昌作	747(5)
超音波	松本 昌泰・堀 正二	751(5)
MR angiography	湯浅 祐二	755(5)
核医学的アプローチ	小代 正隆	758(5)
〈血栓症の臨床—治療〉		
抗凝固薬—その種類と使い分け	辻 肇	762(5)
抗血小板薬—その種類と作用機序	小田 淳	765(5)
血栓溶解療法薬—その種類と比較	上嶋 繁・松尾 理	769(5)
ワルファリン療法の適応疾患とそのモニター法	川野 晃一	774(5)
抗血小板療法のメタ解析	松原由美子・村田 満	776(5)
脳梗塞・TIA の抗血栓療法	内山真一郎	781(5)
Acute coronary syndrome の抗血栓療法	本宮 武司	786(5)
インターベンションと抗血栓療法—冠動脈	三須 一彦・住吉 徹哉	789(5)
インターベンションと抗血栓療法—末梢動脈	笹嶋 唯博・平田 哲	792(5)
心房細動と抗血栓療法—ワルファリン？ 抗血小板薬？	揚 志成・茅野 真男	795(5)
深部静脈血栓・肺塞栓の治療戦略	松島 秀和・茂木 充・金沢 実	799(5)
血栓性素因患者のマネージメント	藤村 欣吾	802(5)
〈座談会〉		
抗血栓薬をどう使うか	峰松 一夫・笠貫 宏・石丸 新・池田 康夫	807(5)
今月の主題・理解のための32題		819(5)
解答		830(5)

■ 症例から学ぶ水電解質・酸塩基平衡異常

〈総説〉		
水電解質異常のアプローチ	内田 俊也	864(6)
酸塩基平衡異常のアプローチ	奥田 俊洋	870(6)
〈症例・Na代謝異常〉		
顎下腺腫脹を伴った尿崩症	今井 裕一	872(6)
高血糖により誘発された高張性脱水	前田 士郎	876(6)
SIADH を合併した肺小細胞癌	赤木 良隆・竹中 優・今井 圓裕	880(6)
心因性多飲による低 Na 血症	須藤 博	886(6)
〈症例・K代謝異常〉		
急性脾炎の治療中にみられた高 K 血症	林 松彦	890(6)
糖尿病性腎症にみられた高 K 血症と高 Cl 性代謝性アシドーシス	佐々木 環・柏原 直樹	894(6)
脱水を伴った低 K 血症	竹村 浩幸・中村 雄二	898(6)
原発性アルドステロン症と副腎腫瘍	原田 早苗・武田 和夫・中川 雅夫	902(6)
低 K 血症による四肢の脱力を認めた症例	岸田 雅之・大石 徹也・榎野 博史	907(6)
シンナー中毒症と低 K 血症	西田 秀美・奥田 誠也	911(6)
〈症例・Ca・P代謝異常, その他〉		
大量飲酒家にみられた低 Mg 血症	香取 秀幸・竹本 文美・山田 明	914(6)
意識障害, ショックを認めた著明な高 Ca 血症	菅原 壮一・鈴木 洋通	919(6)
筋肉内腫瘍を伴った長期血液透析患者の高 Ca 血症	塚本 雄介	922(6)
糖尿病性腎不全に認められた低 Ca 血症	杉崎 徹三	926(6)
透析患者にみられた高 P 血症	石村 栄治・山田 真介・森井 浩世	928(6)
Fanconi 症候群と低 P 血症	米村 克彦	934(6)
頭痛薬と高 Cl 血症	前田 益孝・小林 隆彦・椎貝 達夫	938(6)
〈症例・酸塩基平衡異常〉		
肝硬変, 糖尿病に伴った乳酸アシドーシス	土谷 健・渡辺 由香・二瓶 宏	940(6)
脱力, 口腔内および眼の乾燥感を伴った代謝性アシドーシス	武藤 重明	944(6)
大量嘔吐をきたした幽門狭窄例	松尾 清一・藤田 芳郎・伊藤 恭彦	949(6)
甘草による低 K 血症と代謝性アルカローシス	洞 和彦・小山 貴之	952(6)
〈症例・疾患と水電解質異常〉		
糖尿病に合併した低 Na 血症	永路 正明・加藤 哲夫・渡辺 毅	956(6)

慢性腎不全—透析導入期の水電解質異常	山本 裕康・細谷 龍男 960(6)
心不全の治療と電解質バランス	…原田 昌樹・斎藤 能彦・中尾 一和 964(6)
急速な利尿を機に意識障害を起こした肝硬変	…余 心漢・榎本 信幸・丸茂 文昭 970(6)
悪性腫瘍に伴う電解質異常	…榎田 紀子・宮川 博・藤田 彰 974(6)
利尿薬投与時の水電解質異常	…野々口博史・富田 公夫 978(6)
著明な浮腫を伴うネフローゼ症候群	…柏木 哲也・飯野 靖彦 982(6)
脱水の病態と治療	…太田 昌宏・木村 時久・伊藤 貞嘉 986(6)
〈座談会〉	
私ならこうアプローチする—ベッドサイドでみる水電解質異常	…今井 裕一・須藤 博・竹中 優・内田 俊也 993(6)
今月の主題・理解のための 29 題	1005(6)
解 答	1014(6)

■ブレイン アタック Brain attack

〈脳卒中の病態を理解するための基礎知識〉	
血栓の形成される病態	…内山真一郎・山崎 昌子 1048(7)
脳虚血と再灌流障害、脳浮腫	…秋山 久尚・北井 則夫 1052(7)
いま注目される危険因子・遺伝子異常	…山脇 健盛 1057(7)
〈脱落症状をいかに捉えるか〉	
軽微な脱落症状を見逃さないために	…平田 幸一・竹川 英宏・小林 由佳 1061(7)
軽症意識障害の捉え方	…奥田 文悟・立花 久大 1064(7)
意識障害のある患者の神経症候の捉え方	…渡引 康公 1066(7)
ベッドサイドにおける高次脳機能評価	…本村 暁 1069(7)
頸部血管雑音の診断的価値	…岩本 俊彦・六郷 則仁 1072(7)
Japan Stroke Scale(JSS)による評価	…浜野 均 1075(7)
〈責任病巣をいかに捉えるか〉	
脳梗塞急性期の検査計画	…岡田 靖 1079(7)
脳梗塞超急性期に CT で捉えられる超急性期徴候	…戸村 則昭・岡根久美子・下瀬川恵久 1084(7)
MRI 拡散強調画像による脳梗塞超急性期の診断	…高山 秀一・美原 盤 1087(7)
脳梗塞超急性期の SPECT/PET	…下瀬川恵久 1091(7)

超音波診断—経頭蓋ドブラ・頸動脈エコー・経食道心エコー	…長尾 毅彦・片山 泰朗・横地 正之 1096(7)
脳血管撮影, DSA, MRA	…長束 一行 1100(7)
脳静脈・静脈洞血栓症の急性期診断と治療	…赫 寛雄・内海 裕也 1103(7)
解離性動脈瘤	…水戸 泰紀 1105(7)
〈脳卒中急性期の治療戦略〉	
脳梗塞急性期の治療計画	…峰松 一夫 1110(7)
心原性脳塞栓に対する血栓溶解療法	…中川原譲二・粕谷 潤二 1114(7)
心原性脳塞栓症の急性期管理	…島村 宗尚・橋本洋一郎・内野 誠 1117(7)
脳梗塞急性期の抗トロンビン療法	…杉原 浩・高橋 洋一 1121(7)
ラクナ梗塞の急性期治療	…寺山 靖夫 1124(7)
進行性脳梗塞に対する治療	…植松 大輔 1128(7)
一過性脳虚血発作の治療	…畑 隆志 1131(7)
脳卒中急性期の血圧管理	…久留島秀朗・井林 雪郎 1135(7)
脳出血の急性期治療と外科治療の適応	…本藤 秀樹 1139(7)
脳梗塞に対する血行再建術の適応	…平島 豊・桑山 直也・遠藤 俊郎 1143(7)
Stroke Care Unit の導入で治療成績は向上するか	…長田 乾 1146(7)
急性期リハビリテーションの適応と阻害因子	…横山絵里子 1149(7)
〈再発予防と慢性期の管理〉	
心原性脳塞栓の再発予防	…山崎 昌子・内山真一郎 1153(7)
抗血小板薬による再発予防	…佐藤 美佳・長田 乾 1156(7)
脳卒中慢性期の血圧管理	…石束 隆男 1159(7)
無症候性脳梗塞は治療対象となりうるか?	…棚橋 紀夫 1161(7)
〈座談会〉	
ブレイン アタック—超急性期治療をめぐる	…橋本洋一郎・寺山 靖夫・平島 豊・長田 乾 1164(7)
今月の主題・理解のための 32 題	1180(7)
解 答	1214(7)

■循環器薬の使い方 2000

〈循環器疾患の薬物治療の基本〉	
狭心症	…石川 欽司 1222(8)
心筋梗塞	…河野 通・佐藤 和義・上松瀬勝男 1227(8)
不整脈	…杉 薫 1235(8)
心不全	…川合 宏哉・横山 光宏 1240(8)

高血圧	有田 幹雄・西尾 一郎	1244(8)
高脂血症	馬淵 宏	1249(8)
〈病態に応じた循環器薬の使い方〉		
[ACE阻害薬とA II拮抗薬]		
作用機序・効果・種類・特徴・副作用・禁忌	日和田邦男	1255(8)
高血圧における使い方	平田 恭信	1261(8)
心不全における使い方	川名 正敏	1264(8)
心筋梗塞における使い方	吉野 秀朗	1267(8)
[β遮断薬]		
作用機序・効果・種類・特徴・副作用・禁忌	江口麻里子・土橋 和史・島本 和明	1272(8)
高血圧における使い方	佐藤加代子・桑島 巖	1276(8)
狭心症における使い方	井上 晃男	1281(8)
心筋梗塞における使い方	原 和弘	1284(8)
心不全における使い方	高橋 基・和泉 徹	1288(8)
不整脈における使い方	相澤 義房	1292(8)
[カルシウム拮抗薬]		
作用機序・効果・種類・特徴・副作用・禁忌	中村 保幸・木之下正彦	1296(8)
高血圧における使い方	山崎 文靖・杉浦 哲朗・土居 義典	1301(8)
狭心症における使い方	本江 純子・斎藤 穎・上松瀬勝男	1305(8)
不整脈における使い方	吉田 幸彦・因田 恭也・平井 真理	1309(8)
[利尿薬]		
作用機序・効果・種類・特徴・副作用・禁忌	佐藤 元彦・長谷部直幸・菊地健次郎	1314(8)
心不全における使い方	尾崎 行男・小林 正	1318(8)
高血圧における使い方	上野 均・井上 博	1322(8)
〈その他の循環器薬の使い方〉		
抗血小板薬	池田 康夫	1325(8)
血栓溶解薬	金政 健	1331(8)
抗凝固薬	荻尾 七臣・島田 和幸	1334(8)
α遮断薬	石光 俊彦・松岡 博昭	1339(8)
硝酸薬	大澤 秀文	1343(8)
プロスタグランジン製剤	本康 宗信・中野 昶	1346(8)
HMG-CoA還元酵素阻害薬(スタチン)	山田 信博	1348(8)
ジギタリス	落合 正彦	1352(8)
ジギタリス以外の強心薬	百村 伸一	1354(8)
Naチャンネル遮断薬(I群薬)	新 博次	1359(8)
Kチャンネル遮断薬(III群薬)	磯本正二郎・矢野 捷介	1362(8)

血小板GPIIb/IIIa受容体阻害薬	本宮 武司	1366(8)
今月の主題・理解のための31題		1371(8)
解 答		1404(8)

■「考える」診断学—病歴と診察のEBM

〈Editorial〉		
内科診断のダイナミズムと基本的臨床技術	福原 俊一	1412(9)
〈考える診断学のイントロダクション〉		
「考えて行う」医療面接・身体診察—pertinent negativeとは?	武田 裕子	1414(9)
コミュニケーション技法	飯島 克巳	1418(9)
基本的臨床能力の客観的評価方法(OSCE)	大滝 純司	1424(9)
病歴と診察所見に基づいた検査の選択・検査結果の解釈	尾藤 誠司	1428(9)
病歴・診察所見と患者アウトカム	松村 真司	1433(9)
〈考える診断学の実際〉		
[common symptoms and signs 編]		
なぜ症状—どのようなときに副鼻腔炎を疑うか	木澤 義之	1438(9)
胸痛	上塚 芳郎	1442(9)
甲状腺機能異常を疑う徴候	小澤 安則	1447(9)
結節性紅斑	田中 勝	1452(9)
うつ病：身体的愁訴	柴山 雅俊	1456(9)
アルコール依存症—内科で患者の否認をどう診るか	加藤 純二	1459(9)
心音・心雑音異常 久代登志男・上松瀬勝男		1463(9)
プライマリケア外来における急性関節炎・関節痛の診断の進め方	岡田 正人	1466(9)
めまい	生坂 政臣	1472(9)
腰痛	菅田 文彦・鈴木 康夫	1476(9)
[救急編]		
意識障害(特に失神)・痙攣	大生 定義	1480(9)
頭痛	植村 研一	1484(9)
腹痛	井出 広幸	1486(9)
呼吸困難	木村 弘・猪狩 英俊	1489(9)
腫瘍による脊髄圧迫	安藤 潔	1492(9)
深部静脈血栓症	東 尚弘・福原 俊一	1497(9)
高齢者の肺炎	岡野 良・倉富雄四郎	1501(9)
[見逃してはならない疾患編]		
急性喉頭蓋炎	樋口 昌孝	1505(9)
血栓性血小板減少性紫斑病	北原 光夫	1508(9)
精巣腫瘍を見逃さないために	賀本 敏行・寛 善行	1510(9)
乳癌—乳腺診察のポイント	竹大 禎一・雨宮 厚	1515(9)
悪性黒色腫	吉池 高志	1520(9)

〈対 談〉

基本的臨床能力と医療訴訟—事例から学ぶ

……………児玉 安司・福原 俊一 1523(9)

今月の主題・理解のための 26 題 ……………1535(9)

解 答 ……………1543(9)

■ 肺炎—市中感染と院内感染

〈市中肺炎へのアプローチ〉

市中肺炎のリスクファクター …松村 理司 1576(10)

診察所見からの情報 ……………草深 裕光 1579(10)

喀痰の性状とグラム染色と培養 佐竹 幸子 1584(10)

重症度の判定に必要な検査 ……前野 哲博 1586(10)

肺炎の X 線写真と利用方法

……………鈴木 勝・堀内 正 1589(10)

肺炎診断における CT スキャンの利用方法

…小場 弘之・伊藤 英司・伊藤 峰幸 1592(10)

〈市中肺炎の治療にあたって〉

重症度による抗菌薬の選択

……………二木 芳人・三村 公洋 1595(10)

入院治療か外来治療かの決定 …相澤 信行 1598(10)

ペニシリン耐性肺炎球菌肺炎の判断と治療

……………北原 光夫 1602(10)

高齢者の肺炎 ……………岸本 寿男 1604(10)

若年者の市中肺炎 ……………野口 善令 1607(10)

インフルエンザと肺炎 ……………河崎 伸 1611(10)

市中でみられる誤嚥による肺炎 青木 泰子 1614(10)

〈市中肺炎の問題症例〉

単なる肺炎か結核か迷うとき

……………青島 正大・大曲 貴夫 1619(10)

どのような肺炎に対して、HIV 感染症を疑う必要が
あるか ……………井上 哲郎・田口 善夫 1622(10)

間質性肺疾患への対応

…濱田 邦夫・長尾 大志・長井 苑子 1626(10)

市中肺炎にみられる合併症 ……中浜 力 1632(10)

〈院内感染肺炎へのアプローチ〉

院内感染肺炎のリスクファクター

……………矢内 勝 1636(10)

院内感染肺炎の診断 ……………武田 裕子 1638(10)

院内感染肺炎の起炎菌をどう決めるか

……………下方 薫 1642(10)

喀痰から MRSA が出たときどうするか

……………青木 眞 1644(10)

院内感染肺炎と鑑別すべき疾患 山崎 透 1648(10)

院内感染肺炎と CT スキャンの利用方法

……………渡辺憲太朗・向野 賢治 1651(10)

〈院内感染肺炎の治療にあたって〉

ICU にて経験する肺炎 ……………喜舎場朝雄 1656(10)

急性白血病治療中の肺炎

……………河村 千春・木崎 昌弘 1658(10)

骨髄腫と肺炎 ……中川 靖章・鈴木 憲史 1664(10)

入院中の高齢者と誤嚥性肺炎 …多田 慎也 1666(10)

術後(または外傷後)にみられる肺炎

……………大滝 美浩 1669(10)

改善のみられない院内感染肺炎への対応

……………小林龍一郎 1672(10)

〈肺炎の予防対策〉

ワクチンの投与 ……………小野 容明 1678(10)

全身状態の管理 …桑野 和善・原 信之 1680(10)

COPD への抗菌薬投与と肺炎予防

……………陶山 時彦 1682(10)

今月の主題・理解のための 32 題…………… 1688(10)

解 答 ……………1726(10)

■ 消化器薬の使い方 2001

〈Editorial〉

対話とエビデンスに基づいた消化器薬の使い方

……………上野 文昭 1736(12)

〈消化器治療薬を知る！〉

H₂受容体拮抗薬 ……………多賀須幸男 1740(12)

プロトンポンプ阻害薬

…石野祐三子・木平 健・菅野健太郎 1743(12)

粘膜防御因子強化薬

……………加藤 真子・中村 孝司 1746(12)

消化管運動改善薬 茂木 文孝・関口 利和 1751(12)

止痢・整腸剤 ……千葉 英子・鈴木 亮一 1754(12)

下 剤 ……………福井チナミ・塩飽 徳行 1757(12)

炎症性腸疾患の治療薬

…小林 清典・勝又 伴栄・五十嵐正広 1761(12)

肝疾患治療薬 ……………銭谷 幹男 1765(12)

脾疾患治療薬

…丹藤 雄介・中村 光男・柳町 幸 1769(12)

消化器治療薬と臨床エビデンス 内田 英二 1775(12)

〈消化器治療薬を使う！〉

胃・食道逆流症(GERD) ……小山 茂樹 1781(12)

消化性潰瘍 ……………草刈 幸次 1786(12)

機能的消化管障害 ……………原澤 茂 1790(12)

H. pylori 関連性疾患……………高木 敦司 1794(12)

消化管感染症

…小林 文徳・板倉 勝・松崎 松平 1796(12)

炎症性腸疾患 ……飯塚 文瑛・中村 哲夫・

本間 直子・山岸 直子 1800(12)

過敏性腸症候群 ……………宮原 透 1804(12)

慢性ウイルス肝炎 ……………柴田 実 1807(12)

自己免疫性肝疾患 石橋 大海・具嶋 敏文 1812(12)

非代償性肝硬変症 石井 耕司・住野 泰清 1816(12)

胆道系疾患

…田中 直見・富田 慎二・安部井誠人 1820(12)

脾疾患

…田口 進・渡辺 浩之・天野 長久 1823(12)

消化器悪性腫瘍の化学療法 ……幾世橋 篤 1826(12)

〈消化器治療薬を求める！〉

GERD とアカラシアの薬物療法

……………本郷 道夫・佐竹 学 1830(12)

H. pylori 除菌治療の将来展望

…穂刈 格・杉山 敏郎・浅香 正博 1834(12)

これからの炎症性腸疾患治療薬

……………船越 信介・日比 紀文 1838(12)

薬剤による大腸腫瘍の予防と治療

…古賀 秀樹・飯田 三雄・垂水 研一 1842(12)

ウイルス肝炎の新しい治療薬 ……岩淵 省吾 1844(12)

今月の主題・理解のための 24 題 ……………1849(12)

解 答 ……………1889(12)

■ 糖尿病と合併症へのアプローチ

〈どのように病態を把握し、治療指針を決定するか〉

糖尿病性合併症の動向

……………藏田 英明・田嶋 尚子 1898(13)

糖尿病をどう診断し、どう病態を把握するか

……………黒瀬 健・清野 裕 1901(13)

合併症をどう診断し、どう病態を把握するか

……………吉川 隆一 1905(13)

糖尿病と合併症の治療方針をどう立てるか

……………大角 誠治・小林 正 1908(13)

〈糖尿病合併症の発症・進展を予防するための治療の進め方〉

経口血糖降下薬の使い方の基本的考え方

……………岩崎 直子・岩本 安彦 1912(13)

合併症の発症・進展予防のための血糖・血圧・脂質コントロール目標 南條輝志男・若崎 久生 1915(13)

食事療法をどう進めるか ……岡本 元純 1918(13)

運動療法をどう進めるか

……………押田 芳治・佐藤 祐造 1922(13)

[合併症の発症・進展予防に向けた

経口血糖降下薬の使い方]

スルホニルウレア薬

……………川崎 史子・加来 浩平 1927(13)

速効性インスリン分泌促進薬

……………吉元 勝彦・石田 均 1930(13)

α -グルコシダーゼ阻害薬 ……河盛 隆造 1934(13)

ビッグアナイド薬、インスリン抵抗性改善薬

…荒木 栄一・本島 寛之・近藤 龍也 1938(13)

[合併症の発症・進展予防に向けた

インスリンの使い方]

1 型糖尿病 ……平井 完史・佐藤 譲 1941(13)

2 型糖尿病 ……浜口 朋也・難波 光義 1944(13)

糖尿病患者の高血圧治療の進め方

……………久代登志男・上松瀬勝男 1948(13)

糖尿病患者の脂質代謝異常の治療の進め方

……………石橋 俊 1951(13)

糖尿病患者の動脈硬化をどう把握し、どう治療するか

……………山崎 義光 1956(13)

〈糖尿病合併症への対応の実際〉

虚血性心疾患を伴った糖尿病患者のマネジメント

……………戸兵 周一・齋藤 宣彦 1959(13)

脳梗塞をもった糖尿病患者のマネジメント

……………中野 忠澄・井藤 英喜 1964(13)

網膜症の治療をどう進めるか ……堀 貞夫 1969(13)

早期腎症への対応

…久代 昌彦・四方 賢一・榎野 博史 1973(13)

糖尿病性腎症の透析導入の実際

……………中尾 俊之・岡田 知也 1977(13)

糖尿病性神経障害の治療の進め方

……………安田 斎 1980(13)

足病変の治療の進め方 ……新城 孝道 1983(13)

〈病態に応じた個々の症例への対応〉

境界型一軽症糖尿病の外来診療 伊藤千賀子 1988(13)

肥満糖尿病の治療方針

……………浜口 和之・坂田 利家 1991(13)

糖尿病合併妊娠の治療指針 ……佐中真由実 1995(13)

高齢者糖尿病への対応

……………宮尾益理子・鳥羽 研二 1998(13)

肝硬変合併糖尿病への対応

…神田 勤・今野 英一・西田 勉 2002(13)

ステロイド、感染、手術時の対応

……………小田原雅人 2006(13)

糖尿病のエマージェンシー

……………野田 光彦・門脇 孝 2009(13)

不安定糖尿病 ……高根 直子・牧田 善二 2016(13)

〈患者教育・療養指導の観点から〉

合併症をもつアドヒアランス不良な症例への対応

……………石井 均 2020(13)

日本糖尿病療養指導士認定制度の発足にあたって

……………北村 信一 2022(13)

〈座談会〉

糖尿病診療の実際の進めかた

……………柏木 厚典・渥美 義仁・

戸辺 一之・門脇 孝 2025(13)

今月の主題・理解のための 29 題…………… 2039(13)

解 答 …………… 2049(13)

【カラーグラフ 病原微生物を見る】

5. 腸管出血性大腸菌 O 157 ……竹田 多恵 145(1)

6. サルモネラ

…小花 光夫・岡田 京子・川嶋 一成 323(2)

7. 腸炎ビブリオ ……………本田 武司 480(3)

8. レジオネラ ……小出 道夫・齋藤 厚 649(4)

9. 緑膿菌 ……古谷 信彦・山口 恵三 846(5)

10. *Helicobacter pylori*

…福田 能啓・坂上 隆・下山 孝 1029(6)

11. MRSA

…小松澤 均・桑原 正雄・菅井 基行	1198(7)
12. 結核菌	…小倉 剛 1386(8)
13. A 群レンサ球菌	…清水 可方 1564(9)
14. ボツリヌス菌	…小熊 惠二 1712(10)
15. パンコマイシン耐性腸球菌(VRE)	
…藤本 修平・富田 治芳・	
野村 隆浩・池 康嘉	2075(13)

【目でみるトレーニング】

問題	212	…松原 光伸	150(1)
	213	…徳光 誠司	151(1)
	214	…石川 清隆	327(2)
	215	…入野 誠郎	328(2)
	216	…中村 利生	329(2)
	217	…臼井 健	471(3)
	218	…貞森 直樹	472(3)
	219	…伊奈 研次	473(3)
	220	…佐々木彰一	655(4)
	221	…春田 純一	656(4)
	222	…斉藤 司	657(4)
	223	…青島 正大	831(5)
	224	…小森 隆司	832(5)
	225	…服部 良之	833(5)
	226	…春田 純一	1023(6)
	227	…田上 哲也	1024(6)
	228	…仁平 武	1025(6)
	229	…青島 正大	1191(7)
	230	…大嶋 智	1192(7)
	231	…貞森 直樹	1193(7)
	232	…春田 純一	1379(8)
	233	…田上 哲也	1380(8)
	234	…佐々木彰一	1381(8)
	235	…馬場 毅	1551(9)
	236	…伊奈 研次	1552(9)
	237	…小森 隆司	1553(9)
	238	…佐々木彰一	1706(10)
	239	…臼井 健	1707(10)
	240	…大嶋 智	1708(10)
	241	…貞森 直樹	1882(12)
	242	…伊奈 研次	1883(12)
	243	…青島 正大	1884(12)
	244	…高尾 信廣	2067(13)
	245	…松本 伸行	2068(13)
	246	…草野 良明	2069(13)

【図解・病態のメカニズム 胃疾患】

3. 胃の微小循環—構造とその調節機構	
…辻 晋吾・川野 淳	155(1)
4. 胃粘膜傷害と修復のメカニズム	
…高橋 盛男・片山 裕視・桑山 肇	319(2)

5. 胃粘膜とプロスタグランディン	
…三宅 一昌・坂本 長逸	485(3)
6. 胃運動	
…三梨 桂子・河村 修・草野 元康	667(4)
7. ストレスと胃病変	
…矢花 剛・小林 壮光	839(5)
8. NSAID 起因性胃病変	
…荒川 哲男・樋口 和秀・藤原 靖弘	1035(6)
9. <i>H. pylori</i> の病原性	
…杉山 敏郎・熊谷 彩恵・浅香 正博	1207(7)
10. 消化性潰瘍の病態	
…太田 慎一・新井 晋・藤原 研司	1394(8)
11. 慢性胃炎の病態	
…石原 俊治・木下 芳一	1547(9)
12. 胃発癌のメカニズム	
…森田賀津雄・日下 利広・藤盛 孝博・寺野 彰	1699(10)

【図解・病態のメカニズム 呼吸器疾患】

1. 目で見る肺の聴診所見	
…村田 朗・工藤 翔二	1863(12)
2. 上気道狭窄	
…田崎 徹・岩元 徳全・桑平 一郎	2063(13)

【演習・胸部 X 線写真の読み方—肺疾患篇】

3. 健診で結節影を指摘された 59 歳の男性	
…楠本 昌彦・森山 紀之	141(1)
4. 肺癌治療後の 33 歳の女性	
…楠本 昌彦・森山 紀之	315(2)
5. 咳、痰が 4 カ月間続いている 58 歳の男性	
…松島 秀和・高柳 昇・金沢 実・佐藤 雅史	495(3)
6. 血痰が出現した 63 歳の女性	
…松島 秀和・高柳 昇・金沢 実・佐藤 雅史	661(4)
7. 労作時呼吸困難を訴えて受診し、胸部の異常陰影を指摘された 67 歳の男性	…小倉 高志 851(5)
8. 胸痛と呼吸困難を訴える 20 歳の女性	
…山本 彰・山本 博人	1017(6)
9. 呼吸困難、発熱、咳嗽を主訴とする 19 歳男性	
…栗原 泰之・新美 浩・荒川 浩明・中島 康雄	1187(7)
10. 微熱を主訴に来院、胸部 X 線写真上腫瘍陰影を呈した 37 歳女性	…氏田万寿夫・三角 茂樹 1399(8)
11. 突然の呼吸苦と胸痛で来院した 26 歳の男性	
…梶原 景子・佐藤 雅史	1559(9)
12. 卵巣癌の術前検査で胸部異常陰影を指摘された 49 歳女性	…菊竹 晴子・佐藤 雅史 1695(10)

【演習・心電図の読み方】

1. P 波の異常	…山科 章・近森大志郎 1870(12)
-----------	----------------------

2. QRS の異常(1)―電気軸の異常(右軸偏位, 左軸偏位)……………近森大志郎・山科 章 2080(13)

【症例によるリハ医療―内科医のために】

15. 筋萎縮性側索硬化症患者のリハビリテーション
……………藤田 雅章・江崎 宏典・
河合 正行・野崎 貞徳 489(3)

【Scope】

HIV 感染症診療の実際(前編)―初診から病態の把握
まで……………岡 慎一 1721(10)

HIV 感染症診療の実際(後編)―専門医による治療の
実際と保険診療とのギャップ
……………岡 慎一 1856(12)

【新薬情報】

1. ザナミビル水和物……………越前 宏俊 1202(7)
2. 塩酸ドネペジル……………越前 宏俊 1392(8)
3. 硫酸アパカビル……………越前 宏俊 1544(9)
4. ミコフェノール酸モフェチル
……………越前 宏俊 1718(10)
5. コハク酸スマトリプタン ……越前 宏俊 1878(12)
6. アジスロマイシン水和物 ……越前 宏俊 2060(13)

【medicina Conference】

- 〈第30回〉左肺尖部に異常陰影を指摘された42歳の
糖尿病患者
……………北 靖彦・瀬川 和彦・森下 慎二・
大橋 洋綱・北原 光夫 2050(13)